

2022 年度 自己点検・自己評価 【評価シート】

2023 年 5 月 22 日作成

5 : 達成している 4 : ほぼ達成している 3 : どちらともいえない 2 : 取り組みを検討中 1 : 改善が必要

(1) 教育の理念・目標	評価
1 (1) 1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4
2 (1) 2 学校の特色は何か	5
3 (1) 3 学校の将来構想を抱いているか	4
4 (1) 4 理念に基づく教育が行われているか	4
< 現状・具体的な取り組み / 課題 >	

日本のレベルの高い学校への進学を通じ、留学生への高等教育の提供に資するという
当校の理念・目的・育成人材像は設立時に定めており教職員間で共有されている。

当校は N5 から N1 まで幅広いレベルの受け入れをしており、専門、大学だけでなく大
学院をも目指す環境ができています。

当校の将来構想は、九州外国語学院グループの中核として、首都圏における拠点校の
位置を築き上げることであります。

進学実績も増えてきており、当校の進学指導の成功部分や今後の課題などが見え始め
てきた。コロナ禍での授業運営など新たな方法も試し、対面授業にとりいれることがで
きた。今後は今までの経験を踏まえ、生かすべきところは生かし、新たに取り入れると
ころは躊躇なく取り入れていくなど、更に積極的な授業改革を行う必要があると考えて
いる。

(2) 学校運営	評価
5 (2) 1 運営方針は定められているか	3
6 (2) 2 事業計画は定められているか	3
7 (2) 3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	3
8 (2) 4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	3
9 (2) 5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
10 (2) 6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	3
11 (2) 7 危機管理体制は整備されているか	3
12 (2) 8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう 学校教育法に基づき整備されているか	4

< 現状・具体的な取り組み / 課題 >

運営方針は、学生が勉強しやすい環境を提供し、また職員が働きやすい環境をつくる
ことである。今年度までは十分な空間と職員を確保できていたが、2023 年度（7 月）か
らは定員が 150 人に増えるため、日本語学校の最低限の規定（教室や職員の確保）はも
ちろん、自習がしやすい環境の確保や相談対応できる十分な職員や事務員の増員を行っ

ているところである。また、教務事務室の拡大も計画中で、教職員がより快適に働ける状況を準備しているところである（6月中に改装予定）。

事業計画は主に学生数を増やし、規模の拡大を図ることであり、2022年度はコロナの影響も少なくなり学生数も大幅に伸びてきている。来年度は定員が増えるためさらに学生数が増えることに期待している。

組織運営や意思決定機能、人事や待遇、職場改善については、2022年度については教職員の増減はあまりないため特別な問題等は発生していないが、2023年度からは教務主任が変わり、また、教職員の数が大幅に増える予定のため、新体制での組織運営を順調に行えるよう、しっかりとした運営基盤等を構築することが課題である。

情報システム化については、九州外国語学院グループで以前より開発・運用している独自システム（にほんごくん）を持ち込んで運用しており大きな問題はない。

学校運営についての客観評価（第三者評価等）については前年度に引き続き、検討課題である。

危機管理体制については、九州外国語学院グループでの支援及び情報交換により、十分な体制が整っている。施設・設備は、学校教育法の基準に準じた告示基準に合致している。施設的にも新しく問題は見当たらないが、2023年度に予定している教務事務室の拡大や図書室、保健室の改築によって問題が起こらないよう十分な注意が必要である。

(3) 財務	評価
--------	----

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 13 (3) 1 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか | 3 |
| 14 (3) 2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 3 |
| 15 (3) 3 財務について会計監査が適正に行われているか | 4 |
| 16 (3) 4 財務情報公開の体制整備はできているか | 2 |

< 現状・具体的な取り組み / 課題 >

コロナの影響もほとんどなくなり、さらに在籍管理優良校（現適正校クラスⅠ）となったことで、学生応募が大幅にアップした。2023年度は定員の増員もあるため、さらなる学生数の増加に期待している。

予算・収支計画については、設置会社において策定・運用しており、またグループ全体として連結運用しているため、有効性・妥当性の評価は難しく、どちらとも言えない。

会計監査については、上場企業等に求められる基準には至らないまでも、関与税理士による年間ならびに半期での決算処理時点での監査に関与していただいている。

財務情報公開については、前年度に引き続き検討課題である。

(4) 法令遵守	評価
----------	----

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 17 (4) 1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 |
| 18 (4) 2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 |
| 19 (4) 3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか | 3 |
| 20 (4) 4 自己点検・自己評価結果を公開しているか | 4 |
| 21 (4) 5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか | 5 |

< 現状・具体的な取り組み / 課題 >

法令、設置基準等の遵守に努め、入国管理局にも尋ねながら適正な運営に努めている。
学校内 LAN はファイヤーウォールの機器を設置しサーバーデータの外部への流出を防ぐとともに、教職員の就任にあたっては個人情報保護に関する誓約書の提出を義務付けている。
自己点検・自己評価の問題点の改善については、2022 年度は教務事務で連携を取り、改善に向け努めてきたが、2023 年度は教務主任含め、教職員の大幅な変更があるため、新体制での連携を模索することが検討課題である。
入国管理局をはじめ関係省庁への定期報告、随時報告については、遅延なき報告に努めている。

(5) 教職員	評価
22 (5) 1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	4
23 (5) 2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	4
24 (5) 3 教職員評価を行っているか	3
< 現状・具体的な取り組み / 課題 >	

レベルの高い大学院・大学・専門学校への進学を通じ、高等教育の提供に資するという当校の教育理念を採用の際にも説明し、理解・納得した上で、採用に至っている。採用後の質向上に向けて、新人教師対象に期初に合同研修を行い、その後は教案チェック・授業見学を行っている。
教職員評価に関しては、年度末に振り返りを行ってはいるものの、システム的に取り入れているわけではないので、今後実施していく予定である。
また、在宅勤務時のオンライン環境と対面での直接的な連絡のやり取りにより更に連携を取りながら円滑な運営ができるようになった。今後は完全対面授業になるので、この経験を活かし、密に連絡を取り合うようにしていきたい。

(6) 地域貢献・社会貢献	評価
25 (6) 1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2
26 (6) 2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	2
< 現状・具体的な取り組み / 課題 >	

社会貢献、学生のボランティア活動への奨励や支援については、前年度に引き続き検討課題である。

(7) 教育活動	評価
27 (7) 1 カリキュラムは体系的に編成されているか	5
28 (7) 2 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
29 (7) 3 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	4
30 (7) 4 成績評価は適切に行われているか	5

< 現状・具体的な取り組み / 課題 >

当校の理念に基づいたカリキュラム・指導体制を福岡校のものを元に作成し、運営している。半期終了毎に進学実績や資格取得実績と照らし合わせ、授業の評価を行っている。学生が増えてきたため、比較検討ができるようになり、東京校に合ったカリキュラム作りができるようになってきた。

教員においては、十分な知識を備えていることを条件に採用しているが、経験が浅い教員が多いため、その後のフォローが必要である。成績は4技能を中間期末試験・授業態度・提出物などから相対的評価をし、算出している。

(8) 学生支援**評価**

- | | | |
|----------|---|---|
| 32 (8) 1 | 進学・進路指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 4 |
| 33 (8) 2 | 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 4 |
| 34 (8) 3 | 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか | 4 |
| 35 (8) 4 | 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか | 4 |
| 36 (8) 5 | 保護者と適切に連携しているか | 3 |
| 37 (8) 6 | 卒業生への支援体制はあるか | 2 |

< 現状・具体的な取り組み / 課題 >

進学・進路指導は、当校が最も重視すべきものとして位置付け、取り組んでいる。

また学生相談に対する体制も、進学希望者が増えてきているものの、和やかな雰囲気での支援できている。

健康管理や事故、怪我等についても、中国で利用されている連絡アプリ「ウィチャット」を導入することで学生が連絡しやすい環境を作り、迅速な対応ができる環境ができている。

保護者への連絡については、通訳ができる職員を採用したことにより、問題がある学生への指導の場面で連絡を取り合うことができるようになった。卒業生への支援活動については前年度に続き検討課題である。

(9) 在留管理と生活指導**評価**

- | | | |
|----------|-----------------------------|---|
| 38 (9) 1 | 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか | 4 |
| 39 (9) 2 | 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか | 4 |
| 40 (9) 3 | 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか | 4 |
| 41 (9) 4 | 常に最新の学生情報を把握しているか | 3 |

< 現状・具体的な取り組み / 課題 >

入国・在留関係の管理・指導、支援については、入国・入学直後の諸手続き、期間更新時の取次ぎをはじめ、事務局にて対応している。

日本社会を理解するための支援については、教務部門における授業内外での取り組みと生活指導活動サイドからのアプローチの両面から取り組んでいる。日本の法律とルールを守ることの重要性については、日本在留にあたり最重要事項として指導に努めている。

学生数が急増し、一部、指導が必要な学生が出てきているが、きちんと一人一人と対話することで改善できている。2023年度はさらなる学生の増加が予測されるので、風紀の乱れ等ないよう指導を徹底していくことが求められている。

学生情報の把握では、寮を離れた後の最新の住所、連絡先、同居人、アルバイト勤務先の把握が胆と考え取り組んでいる。2022年度で学生数が増えている中においても、上記の項目については概ね把握できている。ただし、コロナの影響が減り、アルバイトをする学生が増えてきているが、学校に報告しない学生が増えてきており、そこをいかに管理していくかが今後の課題である。

(10) 入学者の募集と受け入れ			評価
42	(10) 1	学生の受入方針は定められているか	4
43	(10) 2	学生募集活動は、適切に行われているか	4
44	(10) 3	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
45	(10) 4	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
46	(10) 5	適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5
< 現状・具体的な取り組み / 課題 >			

当校は、全員直接面接を基本に募集しており、学生受入方針の下、適切な募集活動ならびに教育成果を始め留学費用面も含め正確な情報伝達による募集活動に努めている。

入学選考は、母国での学歴と成績、日本語能力をベースとして面接試験によって決定しているが、募集国により教育環境や事前日本語学習環境、経済状況などが異なることから、全ての募集国に対して同等の選考基準とはしていない。この点においては、どちらとも言えない。現状、以前と変わらず在籍者がほぼ中国人となっているため、前年度から引き続き、その他の国からの募集が検討課題である。

在籍数については、上限ギリギリまで増えているものの、定員を超えることなくきちんと管理できている。

総括

2022年度で学生数が急増している中、学校運営、学生管理等大きな問題も起きず継続することができた。2023年度では学生定員の増員により、さらなる学生数の増加が見込まれることから、その状況下でも円滑に運営、管理できるようしっかりと教職員同士で連携し、準備していくつもりである。